

健診は健康のスタートライン！



～羽曳野市の特定健診の特徴～

今年度も特定健診が始まっています。1年に1度、自分の健康状態を確認できる場として活用していただきたい健診ですが、市の健診はどんな特徴があるのでしょうか。

今月から3回にわたり健診に関する情報を掲載し、これまでの健診を振り返ってみたいと思います。第1回目の今回は、健診の受診率とその結果についてお伝えします。

あなたは自分の血圧や血糖値を知っていますか？

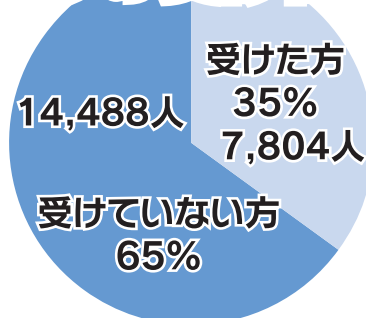
高血圧、糖尿病、心臓疾患、脂質異常症、肝臓機能障害、腎臓疾患、貧血、痛風など、聞いたことのあるこれらの病気は、特定健診を受けると分かります。

しかし、これらの多くは自覚症状が出にくいので、健診を受けないと早期発見をしにくいものでもありますが、ご存知でしたか？

羽曳野市の特定健診受診率

下図のように、羽曳野市において特定健診を受けた方の割合は35%と、平成20年度に特定健診制度が始まって以来ほとんど変わっていません。大阪府下全体でみると上位の受診率なのですが、それでも7割近くの方が、受けることができるにも関わらず、受けていないのが現状であり、さらに「健診は以前に受けたことがあるけれど、この数年はご無沙汰だ」という方も多くおられ、毎年健診を受けている方は25%程度にすぎません。

健診の受診割合



受診総対象者: 22,292人

次回は、健診を受診された方としなかった方とは、健康や病院受診でかかる医療費などに何か違いがあるのか？などの情報を大阪府立大学看護学部の先生よりお伝えします。

保険年金課保健事業担当

☎ 958-1111 内線 1761

自分は健康に自信がある！そう思っているも…

また、健診結果をみると異常なしと診断された方は13%と少なく、40歳代男性で高コレステロールに代表される脂質異常症はほぼ2人に1人、高血圧と診断される人は50歳代にはすでに3人に1人、60歳代になるとどちらも2人に1人の割合で発見されているのです。女性は、女性ホルモンが脂質の代謝を高めたり、血糖値を下げる働きをもつインシュリンを効きやすくする効果があるなど、体を守ってくれているため40歳代位までは良いのですが、女性ホルモンが減少してくる50歳代になると脂質異常症が増え、60歳代には男性と同じ2人に1人の割合で発見されているのです。

動脈硬化は知らないうちに忍び寄っています！

「自分は健康だし、もし具合が悪くなってもすぐ医者にかかるから健診はいらない」「心筋梗塞や脳出血は他人事」そんな風に思っていますか？日本人の死亡原因の多くを占める心筋梗塞などの虚血性心疾患や脳血管障害は、ある日突然かかる病気ではありません。乱れた食生活、運動不足、ストレスなどによって高血圧・糖尿病・脂質異常症となり動脈硬化が進むのです。健康だと思っているときから、未来の健康な生活のために健診を受けて、体をチェックしておくことが大切です。また、すでに定期的に病院に通院している方でも健診を受けることができますので、かかりつけの医師に相談し、できるだけ受診することが大切です。

受けないと損をする?! 市の健診はこんなにお得

市の健診は独自の追加項目の多さについては、大阪府内でトップレベルです。特定健診の基本項目は、実はそれほど多くはありませんが、羽曳野市では、体の状態をより詳しくみるために、羽曳野市・藤井寺市の実施医療機関で受診された場合は、腎機能検査や貧血検査、心電図検査など14項目の追加検査を羽曳野市民健診として無料で実施しています。(特定健診は自己負担金が必要です)

また、健診は日にちの指定などをせず、平成25年3月31日まで実施しており、自分の都合に合わせて受けられるようになっています。健診は1年に1度です。先延ばしにしてチャンスを逃さないためにも、ぜひ受診しましょう。